

2013 年度講習会／後期募集

CPD 認定プログラム

木の建築フォーラムは「木の建築に関する講座」を約 10 年間続けてきました。昨年度からは内容を再構成し、材料から各種性能、設計例まで、木造建築物の設計、施工等に必要な基礎知識と最新の情報を網羅した体系的な講座構成の新講習会をスタート致しました。2013 年度開講の後期 3 講座をご紹介します。皆様ふるってご参加ください。

会場（予定）：AGC Studio（東京メトロ京橋駅出口すぐ）
各講座／定員：40 名 受講料：一般 3 万円、会員 2 万 5 千円（※5 回通し）

● 応用編（４）地震津波被害・耐震診断・耐震補強

金曜日 18：00～21：00

【主旨】木造建築物の耐震設計の考え方は、明治以降、実際の地震被害に謙虚に向き合うことから出発して、工学的な知見を加え、基準法の壁量規定、その他の仕様書の規定に結びついている。耐震診断法もその考え方を踏まえて策定されている。しかしながら、近年でも木造住宅等の地震被害は少なからずあり、既存木造住宅の耐震診断、耐震改修の必要性が高い状況は変わっていない。また、東日本大震災以来、津波も大きな課題となっている。本講座は、木造建築物の過去の地震被害、津波被害をもう一度腰を据えて見つめ直し、耐震診断法及び耐震改修技術について学ぶことを通して、既存木造建築物の耐震化、地震被害の軽減化について、ともに考える場を提供する。

コーディネーター：河合直人（工学院大学）

○第 1 回 10 月 25 日

テーマ：福井地震までの地震被害

講師：腰原幹雄（東京大学生産技術研究所）

○第 2 回 11 月 15 日

テーマ：近年の地震被害

講師：安村 基（静岡大学）、河合直人（工学院大学）

○第 3 回 12 月 20 日

テーマ：東北地方太平洋沖地震の被害

講師：荒木康弘（建築研究所）、槌本敬大（建築研究所）

○第 4 回 1 月 17 日

テーマ：耐震診断法

講師：大橋好光（東京都市大学）

○第 5 回 2 月 21 日

テーマ：耐震補強と診断・補強の実務

講師：五十田博（京都大学）、佐久間順三（設計工房佐久間）

● 応用編（５）木造住宅の設計・計画

土曜日 13：30～16：45

～木の家をつくる方法－設計から現場まで～

【主旨】木の家を設計・監理することは、実はそんなに簡単なことではありません。工業製品ではない木材という材料を、どのように選択し調達して空間に活かすのか。施主には木の家を扱いをどのように説明するのか。構造安全や温熱環境、省エネルギー、環境配慮などの性能はどのように考えているか。山とのつながり、職人との協働の方法など、木の家をつくり続けている建築家や企業が、何を考えて設計し、どのように現場を進めているのか、興味はつきません。この講習会では、確かな木の家をつくり続けている建築家・企業 5 組の方を講師として招きます。それぞれの講師の多くの実例を見ながら、その設計手法をじっくり聴くことができる貴重な機会となることでしょう。木の家を設計している設計者にはもちろんですが、これから家を建てようとしている一般の方にもお役にたつことと思います。

コーディネーター：神田雅子

（アーキキャラバン建築設計事務所）

○第 1 回 10 月 12 日

テーマ：住まいの思想を多くのアイデアでかたちにする家づくり

講師：栗原潤一（株式会社ミサワホーム総合研究所）

○第 2 回 11 月 30 日

テーマ：日本各地の地域材を生かした最高の木造住宅をつくる方法

講師：三澤文子（Ms 建築設計事務所／MSD）

○第 3 回 12 月 14 日

テーマ：太陽と地球と樹木が人が住む環境を作る
－森の恵みの家づくり

講師：落合俊也（株式会社杉坂建築事務所）

○第 4 回 1 月 25 日

テーマ：住友林業の家づくりとそれから
－住友林業の家づくりの考え方、研究所、新たな取り組み

講師：逢坂達男、他（住友林業株式会社）

○第 5 回 2 月 22 日

テーマ：時を越えて住み継がれる住まい
－日本の伝統技術と木の文化

講師：日影良孝（日影良孝建築アトリエ）

● 応用編(6) 伝統木造建築

土曜日 13:30~16:45

【主旨】

いまわたしたちが建てている建物は、伝統的な日本の家づくりの流れの中にあるのでしょうか。毎年、法制度の改正や補助事業が施行される中、わたしたちのつくる建物はどこへ向かうのでしょうか。今こそ、日本の気候風土に根差した木造建物の基本は、どこにあるのかを探る時期ではないでしょうか。本講座では、日本の伝統木造について、構造、構法はもちろん、温熱環境や、省エネ対策、素材の扱い方について、歴史を振り返りながら、これからの実践に生かせる伝統の知恵と工夫に学びたいと思います。毎回の講座は質疑応答を充実させ、実務者の方々とともに一緒に考えてゆきたいと思います。

コーディネーター：松井郁夫（松井郁夫建築設計事務所）

※第2回講義（安井妙子講師）の資料『埼玉県羽生市高野家住宅 関東平野における近代』発行：阿部和建築文化研究所の購入を希望される場合、第1回講義のときに予約を受け付ける予定です。

○第1回 10月26日

テーマ：継手仕口の変遷、限界耐力計算について
講 師：河合直人（工学院大学）

○第2回 11月16日

テーマ：高断熱高気密補強による古民家復権
講 師：安井妙子（安井妙子あとりえ）

○第3回 12月21日

テーマ：民家の架構と空間構成
講 師：堀江 亨（日本大学）

○第4回 1月18日

テーマ：民家造
講 師：安藤邦廣（筑波大学名誉教授）

○第5回 2月15日

テーマ：（仮）木造軸組構法の近代化について
講 師：源愛日児（武蔵野美術大学）

-----参加申込書-----

NPO 木の建築フォーラム事務局 行 (FAX: 03-5840-6406 / Email: office@forum.or.jp)

※必要事項をすべてご記入ください。□は、該当するところにチェックを入れてください。

申込日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

フリガナ

御氏名 _____

☐ 一般 ☐ 会員 (No. _____)

所 属 (勤務先) _____

↓ 受講希望の講座名を○で囲んでください。

連絡先 (☐ 自宅 ☐ 勤務先)

〒 _____

住 所 _____

電 話 _____

FAX _____

E-mail _____

応用 4 地震津波被害・耐震診断・耐震補強

応用 5 木造住宅の設計・計画

応用 6 伝統木造建築

(各講座の最少催行人数 10 名)

※申込書の受領後、事務局より受付のご連絡を差し上げます。その後、指定口座へ受講料をお振込み願います。

※連絡方法： ☐ 電話 ☐ FAX ☐ E-mail での連絡を希望します

※領収書宛先： ☐ 個人名 ☐ 所属 (勤務先) 名

☐ その他 (_____)

※CPD 単位： ☐ 希望する ☐ 希望しない

(CPD 番号： _____)

* 事務局使用欄

--	--	--

※申込締切：各講座、初回開講日の10日前まで

【問合先】 NPO 木の建築フォーラム事務局

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル 4 階

Tel・03-5840-6405

催し物のご案内

このたび、木の建築フォーラムでは下記の講習会・イベントを開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げております。広くご紹介頂けますよう、どうかよろしく御願い申し上げます。

▼後期講習会の募集 (CPD 認定プログラム)

応用編4 「地震津波被害・耐震診断・耐震補強」講座 10/25 スタート (全5回)

○コーディネーター：河合直人 (工学院大学)

金曜日 18:00~21:00

○各回テーマ/講師：福井地震までの地震被害/腰原幹雄 (東京大学生産技術研究所)、近年の地震被害/安村 基 (静岡大学)、河合直人 (工学院大学)、東北地方太平洋沖地震の被害/荒木康弘 (建築研究所)、槌本敬大 (建築研究所)、耐震診断法/大橋好光 (東京都市大学)、耐震補強と診断・補強の実務/五十田博 (京都大学)、佐久間順三 (設計工房佐久間)

応用編5 「木造住宅の設計・計画」講座 ~木の家をつくる方法-設計から現場まで~

10/12 スタート (全5回) 土曜日 13:30~16:45

○コーディネーター：神田雅子 (アーキキャラバン建築設計事務所)

○各回テーマ/講師：住まいの思想を多くのアイデアでかたちにする家づくり/栗原潤一 (株式会社ミサワホーム総合研究所)、日本各地の地域材を生かした最高の木造住宅をつくる方法/三澤文子 (Ms 建築設計事務所/MSD)、太陽と地球と樹木が人が住む環境を作る-森の恵みの家づくり/落合俊也 (株式会社杉坂建築事務所)、住友林業の家づくりとそれから-住友林業の家づくりの考え方、研究所、新たな取り組み/逢坂達男、他 (住友林業株式会社)、時を越えて住み継がれる住まい-日本の伝統技術と木の文化/日影良孝 (日影良孝建築アトリエ)

応用編6 「伝統木造建築」講座 10/26 スタート (全5回)

○コーディネーター：松井郁夫 (松井郁夫建築設計事務所)

土曜日 13:30~16:45

○各回テーマ/講師：継手仕口の変遷、限界耐力計算について/河合直人 (工学院大学)、高断熱高気密補強による古民家復権/安井妙子 (安井妙子あとろえ)、民家の架構と空間構成/堀江 亨 (日本大学)、民家造/安藤邦廣 (筑波大学名誉教授)、(仮)木造軸組構法の近代化について/源愛日児 (武蔵野美術大学)

【会場】(予定): AGC studio (東京メトロ京橋駅の出口すぐ)、【定員・受講料】各講座 40名・一般3万円、会員2万5千円 (※5回通し) >>> お申込みは初回開講日の10日前までに、木の建築フォーラム事務局まで参加申込書をお送りください。

※参加申込用紙はホームページよりダウンロード頂けます。

▼イベント 開催案内

【見学会】(募集)

- ・明治神宮の建築名所を巡る見学会/開催日9月13日(金) (先着20~30名)
- ・寒川神社の御本殿建築と「神嶽山(かんたけやま)」の杜を歩く見学会/開催日10月10日(木) (先着20~30名)

【第9回木の建築賞】 ~近畿・中部地区~ 「いま、どのような木の建築をつくるか」

公開二次選考会 (応募者プレゼンテーション+統括討論会) 10月19日(土) 京都造形芸術大学にて開催

【特別講義】(予告)

内田祥哉氏 特別講義「木造建築の衰退と復興」/開催日12月6日(金)

※詳しい情報はホームページをご覧ください <http://www.forum.or.jp/>

【問合せ先】

木の建築フォーラム事務局 tel・03-5840-6405 fax・03-5840-6406 Email・office@forum.or.jp